管機連Daily News

2025年3月7日（金）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆賃上げ要求平均6.09%　連合集計、32年ぶり高水準

・連合は2025年の春季労使交渉で傘下の労働組合が要求した賃上げ率が平均6.09%だったと発表。要求が6%を上回ったのは1993年以来、32年ぶり。平均賃上げ要求額は1万9244円と、前年同期比で1638円増えた。30年ぶりの高い要求だった24年の5.85%を超える水準。中小企業に限ると賃上げ率は6.57%。24年要求の5.97%を上回る。

◆自動物流道で官民協議会　国交省、25年度にも

・国土交通省は高速道路の空きスペースなどに貨物の専用レーンを設ける「自動物流道」で、2025年度にも官民協議会を設けると明らかにした。メンバーは運送事業者、ゼネコンや荷主となる企業など幅広い業種を想定しており、今後公募する。協議会でビジネスモデルや輸送システム、具体的なルートの検討を深める。

◆外国人の農地取得要件厳しく　農水省、短期在留者認めず

・農林水産省は外国人が日本国内の農地を取得する際の要件を厳しくする。4月から在留資格の期間を審査機関に報告することが義務となる。経済安全保障の観点から、国内の食料供給に影響を与えるために生産を停止するなどの事態への警戒を強める。国内の農地を取得するには市町村の農業委員会に申請して許可を得る必要ある。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆家電量販5社、2月は全社増収　パソコン販売が伸長

・家電量販5社の2月の売上高（全店ベース）が出そろい、ヤマダホールディングスなど全社が増収だった。全社が増収となるのは3カ月連続。前年より気温が下がりエアコンなど暖房器具が好調だったほか、パソコン販売が伸びた企業が目立った。前年がうるう年だった反動減を補った。

◆訪問販売の相談2倍に急増　24年、悪質リフォーム拡大

・2024年に全国の警察に寄せられた特定商取引関連の被害相談が前年比1.5倍の1万7703件に上り、過去最多だった。うち9619件は訪問販売がらみで、悪質リフォームの被害が広がっているという。点検と称して家を訪れ、「工事をしないと危険」などと告げて不必要なリフォーム契約を迫る「点検商法」を巡る摘発も過去最多あった。

◆国交省、春異動の準備期間長く　引っ越し分散呼びかけで

・国土交通省は春の異動に関して、引っ越し予定の職員の準備期間を長くする。残業規制強化や人手不足で長距離輸送は以前より難しくなっている。期日を過ぎての着任を例外的に認める「赴任期間」を伸ばす。同省は3月末に集中する転居時期の分散を広く呼びかけており、省内でも制度を整える。

≪　注目商品　≫

■コロナ、おひさまエコキュートに高圧力パワフル給湯タイプ

・「おひさまエコキュート」の高圧力パワフル給湯タイプを3月下旬から発売。新しい高圧力パワフル給湯タイプは、給湯圧力を従来機種の約1.5倍に向上し、2階や3階でも勢いよくシャワーを使うことができる。「ふろ洗浄システム」との連動運転で、「おそうじconnect」にも対応。

■LIXIL、既設の床材に貼るだけ　上張り床材「リノバ うわばReフロア」

・厚さ1.8mmで取り扱いも簡単なリフォーム用上張り床材「リノバ うわばReフロア」発売。今ある床の上から貼るだけで、理想の空間にリフォームすることが可能。耐水性の高い基材を採用、キッチンなどの水まわりのリフォームと合わせて床材も替えることで、空間を一新。

■アイリスオーヤマ、「HUGEL 真空断熱クーラーボックス 15L」

・製品の6面全てに当社の冷蔵庫で採用している真空断熱パネルの技術を応用することで、最大4日間と長時間にわたり外出先で食材や飲料を保冷・保管できる。付属のインナートレー活用で食料品や釣餌、保冷剤などを分けて保管することができる。